

婦人用アウトウェアの嗜好と人の性格に関する考察
 共立女大家政 小林茂雄

目的 人の性格の相違により被服に対する嗜好度は異なると思われる。内面的及び外面的に女子大生の性格のタイプを分類し、性格のタイプと婦人用アウトウェアの嗜好度との関係について考察する。

方法 (1) 性格のタイプの分類；性格のタイプをとらえるために、(a) YG (矢田部・ギルフォード) 性格検査法により分類する方法、(b) 衣生活態度に関する質問結果に対して因子分析法を適用し分類する方法を用いた。なお、被験者は女子大生(2年～4年生)である。(2) 嗜好調査；女性雑誌のなかから数多くの奇抜さの異なる婦人用アウトウェアの写真を集め、そのなかから予備調査により奇抜さの程度の異なる10枚の写真を選定し、それらの写真をもとにしてスタイル画を作り資料とした。嗜好の評定には嗜好欲尺度(FACT尺度)を用い9段階法で調べた。また、各々のスタイル画のイメージはSD法により評価した。

結果 YG性格検査法によるA型～E型の性格5型及び性格6因子、衣生活態度によるタイプ分け因子をもとに被服の嗜好度との関係を考察した。その結果、次のような傾向がみられた。(1) 性格5型では、A型(平凡型)、D型(安定積極型)、E型(不安定消極型)のタイプの嗜好度に特徴がみられる。(2) 性格6因子では、情緒不安定型、衝動性、内省性、主導性のタイプの嗜好度に特徴がみられる。(3) 衣生活態度によるタイプ分け因子では、自己顕示型、他人意識型、ブランド嗜好型などのタイプの嗜好度に特徴がみられる。